

優勝梨を同日に初セリ 第22回ジャンボ梨コンテスト



J Aあいち豊田梨部会（部会長：梅村和也）が豊田市特産の梨「^{あたご}愛宕」の出荷を始めます。出荷開始に合わせて、毎年大きな反響を呼んでいる「ジャンボ梨コンテスト」を11月8日（火）、豊田市公設地方卸売市場で開催します。コンテストは梨の重量を競うもので、例年約3キログラムのジャンボ梨が多数並びます。また、優勝した梨はプレミアム規格として出荷。コンテスト終了後に、同市場で初セリにかけられます。昨年は、2.974キログラム、胴回り58.4センチメートルの梨が優勝し、1玉30万円で取引されました。今年も、ご祝儀相場が予想されます。当日の表彰式には豊田市太田稔彦市長と同J A石川尚人代表理事組合長も参加する予定です。

このコンテストは、日ごろ高品質な梨作りを目指している部会員が、愛宕梨の重量を競うことで生産技術の向上を図るとともに、来季に向け一層生産意欲を向上させることを目的に毎年開いています。最近は核家族化が進み、消費者の需要に応じて小ぶりの愛宕梨を中心に生産していますが、部会員はコンテストの優勝に向け通常の出荷基準に比べ、より大きな愛宕梨を生産しようと、春先からの農作業に力をいれています。出品者は26人を予定していて、昨年同様に大きな梨が期待されます。

【取材日時】

日時：令和4年11月8日（火）
午前6：00 ジャンボ梨コンテスト
午前6：30 コンテスト表彰式
午前7：00 入賞品のセリ開始

場所：豊田市公設地方卸売市場 青果棟
（豊田市高崎町兼近70）

各賞：愛知県知事賞、豊田市長賞
J Aあいち豊田組合長賞
愛知県果樹振興会長賞
J Aあいち経済連会長賞
J Aあいち豊田梨部会長賞
審査：梨の重量で順位を決めます。同じ場合は、胴回りのサイズが大きいもの



↑約3キログラムのジャンボ梨

＜愛宕梨について＞

愛宕梨は果肉が柔らかく、甘みと酸味が調和したみずみずしい梨。サイズは通常でも約1キログラムもあります。非常に日持ちが良いのが特徴で、贈答品としても人気です。

＜令和4年 J Aあいち豊田梨部会 概要＞

栽培農家は豊田市猿投地区、上郷地区の43戸。栽培面積は26.8ヘクタール。出荷量は、全品種で423トンの出荷予定。栽培品種は幸水・あきづき・愛宕など8品種を栽培しています。

＜お問い合わせ先＞

J Aあいち豊田 営農生活部 猿投営農センター選果場 担当：中野 満紀・岡本 竜一（土日祝を除く 8:30～17:30）
〒470-0373 豊田市四郷町森前南2番地4 電話（0565）46-2217 FAX（0565）43-2031
または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp